

終戦記念日に平和記念公園で平和の祈りを込めて奏でられる

平和祈念コンサート in 広島

L.v.ベートーヴェン 作曲

交響曲第9番 二短調 作品125

三枝 成彰 作曲

チェロの為のレクイエムII -HIROSHIMAの為に- ほか

(演奏:チェロアンサンブル AKI)

出演

指揮 田久保 裕一

ソリスト ソプラノ/乗松 恵美 アルト/八川 浩子 テノール/澤原 行正 バリトン/水谷 明仁



管弦楽 ジャパン フェスティバル オーケストラ
Japan Festival Orchestra (コンサート ミストレス:天野 克子)
合唱 平和祈念「第九」合唱団
アンサンブル チェロアンサンブル AKI (コンサート ミストレス:松本 愛子)

曲目

【第1部】チェロアンサンブル AKI 演奏

W.A.モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス
J.S.バッハ G線上のアリア
三枝 成彰 チェロの為のレクイエムII -HIROSHIMAの為に-
新井 満 千の風になって ほか

【第2部】『第九』

L.v.ベートーヴェン 交響曲 第9番 二短調 作品125

《ご来場時のお願い》

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場内では必ずマスクをご着用下さい。また、ご入場時受付にて検温および手指消毒のご協力をお願い申し上げます。
- 全席自由席ですが、間隔を空けてお座り頂きます(当日表示)ので予めご了承下さい。
- 感染防止の観点から、出演者への花束など贈り物をご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

2021年8月15日(日) 14:30 開演 (13:45 開場)

広島国際会議場 フェニックスホール

(〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5 [平和記念公園内])

入場料(全席自由)
前売り1,500円
当日2,000円

- JR 広島駅から 路線バスにて「平和記念公園」下車すぐ(所要時間:約20分) / 市内電車にて「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分(所要時間:約25分)
- 広島バスセンターから 徒歩約10分 ※お車でのご越しの場合、駐車場には限りがございます。出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

チケットお問合せ

■ e+ イープラス <https://eplus.jp/>
(WEB/アプリ/Famiポート)

スマチケ



【主催・お問い合わせ】



一般社団法人 国際親善音楽交流協会 (IGMEA)

International Goodwill Music Exchange Association

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-3-18 ビラ・モデルナ C-104 (担当: 岩本)
TEL:03-3406-3355 FAX:03-3406-3356 E-Mail:info@igmea.com
(平日 11:00-16:00/土・日・祝休み)

協力: 株式会社 メット インターナショナル / 後援: エリザベト音楽大学

出演者プロフィール



指揮 / 田久保 裕一 *Yuichi Takubo*

東京学芸大学音楽科卒業。チェロ・室内楽・指揮を学ぶ。1980年～1992年まで12年間、千葉県習志野市にて小中学校の音楽教師を務める。1992年に退職しプロの指揮者に転向。1992年～1993年、スイスとウィーンでリヒャルト・シューマッヒャー、カール・エスターライヒャー、湯浅勇治、ハンス・グラーフの各氏に師事。1994年11月、ルーマニア・ブラショフ市で開催された第4回「ディア・ニクレスク」国際指揮者コンクールにてグランプリ、審査員特別賞と聴衆特別賞を受賞。その後ルーマニア国内をはじめウィーン、ザルツブルク、ニューヨーク、ベルリン、カザフスタン、ソウル、ベトナム、中国など世界各地で多数指揮をしている。1000人のチェロコンサートでは2010年(広島)、2015年(仙台)と指揮を務めた。そのほか震災被災地支援演奏や追悼演奏などにも多数参加している。これまでに、国内の主要オーケストラを指揮。また全国のアマチュアオーケストラや合唱団の育成にも尽力。エネルギーで熱い人柄で、行く先々で音楽ファンをふやし、地域文化の活性化に一役買っている。また合唱指揮法DVD「指揮のABC」と「田久保先生の熱血指揮クリニック」は大好評で重版が続いている。国立音楽大学講師、日本指揮者協会幹事、日本吹奏楽指導者協会会員、2002年より中国内モンゴル民族歌舞劇院交響楽団名誉客演指揮者。

[ブログ] 田久保裕一のミュージックプラザ

チェロアンサンブル AKI *Cello Ensemble AKI*

2018年に中国地方を襲った集中豪雨により被害を受けた方々への復興支援を目的に、広島在住のアマチュアチェロ奏者を中心に結成されました。1000人チェロコンサートで培ってきたノウハウをもとに復興支援コンサートを2019年に開催。今回は広く全国から仲間を集めて再結成されました。



コンサート ミストレス / 松本 愛子 *Aiko Matsumoto*



昭和音楽大学弦管打楽器演奏家コース卒業。在学中にはイタリア研修・コンサートに参加。桐朋学園大学音楽学部研究生2年修了。その後、京都に移る。2015年11月、横浜と京都にて初のソロリサイタルを行い、好評を博す。現在、Aiko's Cello Studio(A.C.S.)にてチェロの奏法を指導。チェロの魅力や可能性を広げるのを目的に「チェロアンサンブル KOTO」を立ち上げ、編曲やコンサートミストレスを務める。その傍ら、各地にてソロやアンサンブルのコンサートなど演奏活動も積極的に行っている。2016年ベルリンにてデビット・ゲリンガスのマスタークラスを受講。2018年2月にアンサンブル・ヌフとハイドンの協奏曲第一番を共演。同年12月、ニューヨークのカーネギーホールにてチェロアンサンブルのコンサートミストレスを務める。出身校である横須賀市緑ヶ丘女子高等学校の「緑の大使」を務めている。

ジャパン・フェスティバル・オーケストラ *Japan Festival Orchestra*

指揮者田久保裕一氏の提唱により、海外公演のために全国から集まったメンバーにより構成。これまでにニューヨーク、ザルツブルク、ウィーン、ベルリン、習志野(帰国演奏会)などで公演を行いました。今回は広島の第九のために全国から有志が集まり再結成されました。



コンサート ミストレス / 天野 克子 *Katsuko Amano*



東京芸術大学卒業。大阪フィルハーモニー1st ヴァイオリン奏者、昭和音楽大学ヴァイオリン講師を経て、現在、神奈川県厚木交響楽団のコンサートミストレス、伊勢原音楽家協会理事、二葉会を主宰し多くの演奏家を育てている。指揮者 長野力哉氏とブルックナー連続演奏を目指してリキフィアモニシエスオーケストラのコンサートミストレスを務め、これからのライフワークとしていた矢先、コロナ感染症で指揮者を失った。2019年彼とブルックナーの眠るザンクト・フローリアン大聖堂でブルックナーを演奏できたことは歴史的出来事である。

田久保裕一氏とは厚木交響楽団の客演指揮者として何度もお招きし共演している。また彼の海外演奏会では、その度に声をかけていただき、ウィーン、ザルツブルク、アメリカ、ドイツなどでコンサートミストレスとして参加している。

ソプラノ / 乗松 恵美 *Emi Norimatsu*



東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻卒業。同大学大学院独唱科修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了、博士(音楽)号取得。マダム・ハタフライ国際コンクール in 長崎 優勝。ひろしまフェニックス賞、広島文化賞新人賞受賞。(財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業アーティスト。声楽を、木原朋子、瀬山詠子、朝倉蒼生、高丈二、ウーヴェ・ハイルマン、折江忠道の各氏に師事。《蝶々夫人》《椿姫》《アイダ》《カルメン》等のタイトルロール。《フィガロの結婚》伯爵夫人、《愛の妙薬》アディーナ他、多彩なおペラ作品の主たる役で出演。また、モーツァルト《レクイエム》、《メサイア》、《第九》など、合唱作品のソリストとしても好評を得ている。キングレコード「越天楽のすべて('02年レコード大賞受賞)」でソプラノソロを務めCDデビュー。Studio N.A.Tより、ファーストソロアルバム「consolo」をリリース。現在、故郷の広島を拠点に、各地で演奏活動を行う。日本演奏連盟、日本音楽学会、「ヒロシマと音楽」委員会会員。NHK文化センター、エリザベト音楽大学、比治山大学短期大学部講師。ミリオンコンサート協会所属。藤原歌劇団正団員。

テノール / 澤原 行正 *Takamasa Sawahara*



広島県呉市出身。愛媛大学教育学部及び東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程修了。現在、桐朋学園大学大学院博士後期課程に在籍。福島育英会奨学生。これまでに浜田フミエ、木村勢津、関定子、市原多朗、大島幾雄、宮本益光の各氏に師事。オペラアカデミーinS.アマデウス第3期修了。東京二期会オペラ研修所マスタークラス修了。修了時に優秀賞及び奨励賞を受賞。第53回日伊声楽コンクール入選。第27回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位。その他多数受賞。オペラ「カルメン」ドン・ホセ役でデビュー後、「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、「魔笛」タミーノ役、「愛の妙薬」ネモリーノ役、「椿姫」アルフレード役を始め、様々なオペラに出演。コンサートソリストとしてもヘンデル「メサイア」、バッハ「マニフィカト」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、ホルフ「カルミナ・ブラーナ」などに出演。広島県呉市出身の作曲家藤井清水の作品演奏や東京音楽学校の戦没学生作品の初演など、幅広いレパートリーを持つ。2021年は東京二期会「セルセ」表題役、「こうもり」アルフレード役など5公演での出演を予定している。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。

アルト / 八川 浩子 *Hiroko Yagawa*



広島市出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。声楽を益田暹、故鈴木仁、藤井美雪、頃安利秀各氏に師事。在学中に、定期演奏会、チャリティークリスマスコンサート、卒業演奏会、修了演奏会に出演。ヘンデル「メサイア」、ハイドン「ネルソニッサ」、ベートーヴェン「莊嚴ミサ」「ミサ曲 八長調」、モーツァルト「レクイエム」等のアルトソロを務める。東京バロック合唱団、ドイツフライブルク大聖堂少年合唱団の演奏会にアルトソリストとして出演。また、CD「近代唱歌集成 聖歌の世界」(ビクターエンターテイメント)、「カルミナ・セークリ」、上田益作曲「4つの愛の歌」、神戸ルミナリエ2016会場音楽レコーディングメンバー。2019年「レクイエム・プロジェクト in ポーランド〜平和への祈り〜」にソリストとして参加している。オペラでは、ひろしまオペラフェスティバル主催「ブッチーニ『ジャン・スキッキ』ズィータ、ビゼー『カルメン』メルセデスで出演。現在、声楽アンサンブル「Voice=SpecTive」メンバー。その他、各地で演奏活動をしながら後進の指導にあたっている。現在、兵庫県在住。

バリトン / 水谷 明仁 *Akihito Mizutani*



エリザベト音楽大学卒業後、同大学院を修了。その後ドイツのベルリンにて研鑽を積む。ブッチーニ「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」、モーツァルト「フィガロの結婚」「魔笛」「コシファンツウツェ」、ドニゼッティ「愛の妙薬」、ロッシーニ「結婚手形」「チェネレントラ」、ドボルザーク「ルサルカ」のほか多数のオペラに出演。ソリストとして、バッハ「ヨハネ受難曲」(広島交響楽団)、ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第九番」に出演。ドイツリートにおいてはシューベルト「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」、シューマン「詩人の恋」などの歌曲集や小品にレパートリーを持つ。2020年、秋吉台国際芸術村に招聘されリサイタルを開催。渡辺典子、小野村和弘、レナーテ・ファルティンの各氏に師事。2009年度下関市芸術文化奨励賞を受賞。エリザベト音楽大学非常勤講師。